

齋藤 之誉ゼミナール【経済-27 クラス】

【**題目**】地域と教育－地理と教育から地域を学ぶ醍醐味－

【**到達目標**】分布図を活用して問題を発見して探求する地理的な研究に必要な基礎的・基本的な探求方法、研究計画の立案と実践法のスキルの体得をめざす。また戦後の社会科教育論争の分析を通して、「社会の変化」に対応してきた教育研究の時代相を捉える見方・考え方を涵養する。

【**講義内容**】個々の参加者には、①先行研究となる基本文献を収集する作業、②先行研究の目的と方法および成果と課題を検討する作業、③先行研究の成果をふまえて自らの研究題目・研究の目的と方法を設定する作業、④①から③の作業をふまえて研究計画を立案して実践することが求められる。

このほかに、以上の①から④までの研究の基礎的・基本的な手続きについて考察する機会をもつ。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーションー地理学と教育学の接点に立つ醍醐味
- 第2回 人文地理学の諸相①ー地図学のアプローチ
- 第3回 人文地理学の諸相②ー経済地理学のアプローチ
- 第4回 人文地理学の諸相③ー商業地理学のアプローチ
- 第5回 人文地理学の諸相④ー都市地理学のアプローチ
- 第6回 人文地理学の諸相⑤ー観光地理学のアプローチ
- 第7回 人文地理学の諸相⑥ー行動地理学のアプローチ
- 第8回 人文地理学の諸相⑦ー農村地理学のアプローチ
- 第9回 人文地理学の諸相⑧ー歴史地理学のアプローチ
- 第10回 社会科教育論争①ー社会科「無国籍」論
- 第11回 社会科教育論争②ー問題解決学習 VS 系統学習
- 第12回 社会科教育論争③ー郷土教育論争
- 第13回 社会科教育論争④ー道徳教育論争
- 第14回 社会科教育論争⑤ー神話教育復活論争
- 第15回 社会科教育論争⑥ー教科書問題をめぐる論争

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
様々な人と対話する力	◎
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己反省する力	◎

【**教科書**】特に指定しない。授業開始後に履修者各自が設定する研究題目や興味・関心の方向性に応じて、テキストを指定することがある。

【**参考文献**】伊藤修一・有馬貴之・駒木伸比古・林琢也・鈴木晃士郎編『役に立つ地理学』(2012年、古今書院)、谷川彰英著『戦後社会科教育論争に学ぶ』(1988年、明治図書)。このほかの文献は、授業の際に適宜紹介する。

【**評価方法**】出席の状況、研究への取り組みと質疑応答への参加状況、提出物を総合的に評価する。

【**履修の条件**】地理A・B又は地誌のうち、いずれか1科目を履修しておくことが望ましい。

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】可

【**他学部生受入**】可

【**当該科目に関連する開設科目**】地理学概論A、地理学概論B、地誌、社会科教育法Ⅰ～Ⅳ

【**使用言語**】日本語

【**担当者からの一言**】地理学と教育学の接点の立ち位置から、地域を学ぶことの醍醐味を共有したいと考えています。